

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公表特許公報 (A)

(11)特許出願公表番号

特表平7-506503

第1部門第2区分

(43)公表日 平成7年(1995)7月20日

(51)Int.Cl.

B 2 6 B 21/18

識別記号

庁内整理番号

F I

9029-3C

審査請求 未請求 予備審査請求 有 (全 7 頁)

(21)出願番号 特願平5-518846
(86) (22)出願日 平成5年(1993)4月23日
(85)翻訳文提出日 平成6年(1994)10月24日
(86)国際出願番号 PCT/DK93/00137
(87)国際公開番号 WO93/22112
(87)国際公開日 平成5年(1993)11月11日
(31)優先権主張番号 0538/92
(32)優先日 1992年4月27日
(33)優先権主張国 デンマーク (DK)

(71)出願人 ワーナー・ランバート・カンパニー
アメリカ合衆国ニュージャージー州07950,
モーリス・ブレインズ, テーパー・ロード
201
(72)発明者 ベデルセン, イェッテ・ポールディンク
デンマーク国デーカー-6600 ヴェイエ
ン, ラングスコヴェイ 10
(74)代理人 弁理士 湯浅 恭三 (外5名)

最終頁に続く

(54)【発明の名称】 安全カミソリ

(57)【要約】

ひげそり装置は、前縁部材と後縁部材とを収容するカートリッジを有する。刃部材の双方は、前方切断縁及び後方切断縁を有する。カートリッジは、後方の切断縁を使用することができるように反転することができる。

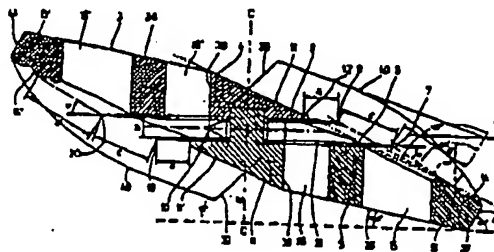


図 解 の 説 明

1. ハンドルと、固定可能な刃のカセット(3)を取り付けるカセットホルダ(2)とを有し、刃のカセット(3)は、キャップ部分(4)と台部分(5)とを有し、これらの間に2つの切断線(7)及び(9)を有する長い2つのカミソリ刃(6)及び(8)がしっかりと取り付けられ、前記キャップ部分(4)は、2つの切断線(7)及び(9)を通る平面より低い水準に配置された接触面(11)と、前記2つの切断線の内の後方の切断線(9)の後端からわずかに後退した前縁(12)とを有し、台部分(5)が前方の切断線(7)の前方に突出しており、その前縁に、長手方向端部、若しくは当接部(14)を有し、前記長手方向端部、若しくは当接部は、その前縁に後部の接触面(14)を備えており、前記接触面(14)は、2つの切断線(7)及び(9)を通る平面より低い水準に配置されており、当接部の前後に、第1列目の切り出し部(15)及び第2列目の切り出し部(21)を有する前方の刃(6)及び後方の刃(8)が配置されており、前記前方の刃(6)及び後方の刃(8)は、2つの切断線(7)及び(9)の間が相互間隔(c)に、切断線(7)と接触面(14)の第1の位置部との間の距離ラインとの角度が(v)に、スぺース(10)によって相互間隔(d)になるように取り付けられている安全カミソリにおいて、2つの刃(6)及び(8)は、2つの切断線(7)及び(9)に対向する側に、さらに2つの切断線(19)及び(20)を有し、接触面(11)及び(14)、距離(a, c, d)、角度(v)及び切り出し部(15)及び(21)によって規定される他の2つの切断線(19)及び(20)を有する刃のカセットの形状は、2つの切断線(7)及び(9)のカセットの形状と同一であり、2つの刃(6)及び(8)は、同じ側面であるが、後方の刃(8)は、前方の刃(6)に関して180°回転した位置で取り付けられ、前縁の台部分(5)は、当接部(13)の反対側にキャップ部分(4)の各穴に適合する2つの同様なダブ(24)及びキャップ部分(4)のダブ(24)に適合する2つの穴(25)を有し、前記2つのダブ(24)は、2つの刃(6, 8)及びスぺース(10)の穴(26)及び(27)を通り、キャップ部分(4)は、台部分(5)として固定されるが、台部分(5)に関して180°

のカセット(3)の台部分(5)及びキャップ部分(4)の切り出し部の後方縁部(38)で終結しており、前記前縁は、刃のカセットをカセットホルダ(2)の所定の位置に固定するのに使用されることを特徴とする請求項1に記載の安全カミソリ。

4. 接触部分(46)は、台部分(5)またはキャップ部分(4)に適合することができるダブ(49)を具備することを特徴とする請求項1に記載の安全カミソリ。

回転した位置に取り付けられており、組み合わされた状態は、刃のカセット、すなわちキャップ部分(4)、後方の刃(8)、スぺース(10)、前方の刃(6)及び台部分(5)の組立体を形成し、刃のカセット(3)は、外側面を備えており、カセットホルダ(2)は、刃のカセット(3)をカセットホルダ(2)に固定された第1の位置に及び前記第1の位置に関して中央軸(0)の周りに180°回転した第2の位置に保持することができる内側の側面を備え、第2の位置において2つの刃(6)及び(8)は、第1の位置と異なるハンドルと所定の角度を形成することを特徴とする安全カミソリ。

2. 接触部分(5)及びキャップ部分(4)は、接触部分(32)を有し、接触部分(32)は、2つの部品を回転して組み立てる側面であり、刃のカセットの内側に係合部(33)を有し、係合部(33)は、一方の部分にダブ(34)を備え、他方に切り出し部、若しくは開口(35)を備え、このダブ(34)及び切り出し部(35)は、キャップ部分(4)のダブ(34)が、台部分(5)の切り出し部(35)に係合して固定され及び反転され、その位置でキャップ部分(4)の係合部(33)が台部分の係合部(32)と接触するように製造され配置されることを特徴とする請求項1に記載の安全カミソリ。

3. 台部分(5)の底縁が、1つの係合部(36)を有し、前記係合部(36)は、当接部(13)の下縁(37)から切り出し部(16)の後縁(38)に広がっており、係合部(36)は、そこから、他の前方の切断線(19)に向かって傾斜して、ある距離で距離している1つの接触面(11)に接しており、係合部(36)及び接触面(11)の一部は、刃のカセットを通る中央ライン(c-c)に、さらに接触部分(32)の下縁に接され、接触面(11)と連絡している第1の第1の係合部(39)と、前記第2の係合部(40)とを有し、カセットホルダ(2)は、係合部(36)に係合する内側側面(42)と、刃のカセットの他の係合部に合致する下方の前縁部(43)と、刃のカセットの第1の係合部(39)に合致する前方の前縁部(44)と、刃のカセット(3)を刃刀からカセットホルダに押すことができる当接部(13)の前縁に形成される係合部(41)に合致する後方の前縁部(45)と、カセットホルダの底縁部分(46)及び前縁部分(47)は、カセットホルダ(2)に取り付けられた刃

明 細 書
安全カミソリ

本発明は、請求項1のクレームで述べた種類の安全カミソリに関する。このような安全カミソリは、DK (Patent) プレサート No. 144460号及び米国特許第3786563号の発明から公知である。

従来の安全カミソリは、一方の側に切断線をもつだけ有するカミソリ刃を使用するように設計されている点で欠点であり、このことは刃のカセットを時々交換しなければならないことを意味する。さらに、すべての従来の安全カミソリは、複雑な構造を有している。

本発明は、カミソリ刃が、両側に1つの切断線と、カセットホルダの内側で回転することができる刃のカセットとを備えており、従って、刃のカセットは、従来の安全カミソリに比べて2倍の寿命を有する、導入部で述べた種類の安全カミソリを提供する。

本発明によれば、この目的は、導入部で述べた安全カミソリが請求項1で述べたクレームに開示されている点で達成される。

これによって安全カミソリのさらに簡便な構造を達成することができ、製造コストの低減を図ることができる。

請求項2は、刃のカセットのキャップ部分を台部分に固定する特異な固定部に関する。

請求項3は、外側面を有する刃のカセットと内側の側面を有するカセットホルダの双方の特異な構造に関し、それによって、刃のカセットをカセットホルダでしっかりと固定することができる。

請求項4は、カセットホルダに比肩した所定の位置に刃のカセットを固定することができる特定の側面に関する。

次の図面を参照して本発明の簡便な説明を行う。

第1図は、カセットホルダに刃のカセットを取り付けた本発明に関する安全カミソリの断面図である。

第2図は、第1図に示す安全カミソリ用のカセットホルダを拡大して示す斜視図である。

第3図は、本発明に関する安全カミソリ用の刃のカセットを拡大して示す側面図である。

第4図は、刃のカセットの分解図である。

第5図は、刃のカセットの後面図である。

第6図は、刃のカセットの前面図である。

第7図は、本発明に関する安全カミソリのカセットホルダを通る断面図である。

第8図は、刃のカセットを取り付けたカセットホルダを通る断面図である。

第1図から分かるように、安全カミソリは、ハンドル1を有し、このハンドル1は、その前面の前面のカセットホルダ2に回転可能な刃のカセット3が取り付けられている。

第4図及び第6図を参照すると、刃のカセット3は、キャップ部分4と台部分5とを有する。キャップ部分4と台部分5との間に両方に切断面を有する長いかみそり刃6を有し、その長さがそれと平行に、その前後に切断面を有する短方の長いかみそり刃8が取り付けられている。刃は、スペース10で、例えば、0.5mmの相互間隔を介して保持されている。本体部分4は、ひげそり中に皮膚と接触する接触面11を有するように設計される。接触面11の背面12は、刃8の接触面9と比較して例えば0.5mmだけ後方に後退している。接触面11は、接触面7及び9を通る平面より低い水準に配置されており、例えば、刃8の平面と23°の角度を形成している。台部分5は、刃8の切断面7の前方に突出しており、その前方に、長手方向の縁部または出っ張り13を有し、その両側に放射状の接触面14を備えており、その接触面14は、ひげそり中に皮膚に接触するようになっている。また接触面14は、切断面7及び9を通る平面の水準より低い水準に配置されている。当接部13の後縁には、第1列目の切り出し部15を有し、そこからある距離隔れて第2列目の切り出し部16がある台部分5が有る。切り出し部15及び16は、長手方向の縁部17によって分離されており、また、縁部18によって後方方向に分離されている。

刃6及び8は、切断面7及び9の間で相互間隔c、例えば1.0mmだけ離れた位置に配置されており、縁部7と接触面14の第1の縁部部分との間で相互間隔d、例えば1.20mmだけ離れて配置されている。さらに、刃6及び8は、

dは、縁部の双方の間で同一である。

2つの刃6及び8は、一般に設計であり、刃8は、刃に比例して180°回転した位置で刃のカセットに取り付けられている。

キャップ部分4は、台部分5として設計されるが、台部分5に比例して180°回転してカセット3に取り付けられている。

台部分5及びキャップ部分4は、その両端に縁部部分32を有する。各縁部部分32は、組み立てた刃のカセットの内側に、互いに関して反対した側に係合面33を有する。また、縁部部分4は、一端にデボ34を有し、他端部に切り出し部または縁部35を有する。

刃のカセットの組み立て中に、キャップ部分4の2つのデボ34は、台部分5の2つの切り出し部35と係合して固定され、台部分5の2つのデボ34は、キャップ部分4の2つの切り出し部35と係合して固定され、その状態で縁部部分32の2つの係合面33が合致する。

第8、7及び8図から分かるように、刃のカセット3は、係合面を有するように製造され、カセットホルダは、カセットホルダ3を保持し、第1の位置並びにカセットの中央軸の周りに180°の回転した他の位置を規定するように製造された内側面を具備しており、これは、刃6及び8が最初に向った位置と同じ角度を形成することを意味する。

台部分5を参照すると、前述した係合面は、当接面13の下縁87から、例えば、切り出し部16の接触面28まで広がる第1の係合面36を有し、表面36は、そこから接触面11に面を、そこから中心線C-Cまで続く。係合面は、表面39及び他の面40に接しては、その双方は縁部部分32に形成される。同様の係合面がキャップ部分4の図面に見られる。当接部13の前方は、追加の係合面41を具備している。

カセットホルダは、係合面に合致する、内側の上方の側面42と、2つの縁部部分32の係合面40に合致する下刀の側面43の双方を有する。刃において、側面49は、前方の側面44に連続し、係合面39に合致し、その背後で、係合面41に合致する後方の側面45に接している。

カセットホルダの底面部分46及び縁部部分47は、それらが、カセットホル

ダ7と接触面14の第1の縁部部分の縁部を通る平面とある角度α、例えば31°の角度を形成するように取り付けられている。カセットホルダ2は、ハンドル1に折り合うように配置され、また、刃のカセット3は、刃6及び8とハンドルが、所定の角度、例えば65°の角度を形成するように配置する。

縁部7の背後に、一列目の切り出し部21を備えた刃8があり、この切り出し部21は、刃のカセット3に取り付けられるときに、台部分5の第2列目の切り出し部16と整合し、切断面9からのひげそりのくづを通過させることができるようにする。ひげそりくづは、台部分5の第1列目の切り出し部15を通過して縁部7から放出される。

刃6において、特別に低い切り出し部22を備えた各切り出し部21が配置されており、その各々に、切り出し部22と同一の断面形状を備えたデボ23が適用されるようになっている。これらのデボ23は、長手方向の縁部17に配置される。

台部分5の切り出し部16の背後で、この縁部は、例えば、2つのデボ24及び2つの穴25を有する。キャップ部分4は、デボ24と同じ水準に穴25を、穴25の水準にデボ24を有する。刃6及び刃8及びスペース10は、穴26及び27を有するように製造され、刃のカセットの組み立て中に、その中にデボ24が入れられる。キャップ部分4、刃8、スペース10、刃6及び台部分5は、カセットの組み立て中にデボ24によって精密に相互位置に調整される。

刃6は、縁部7の反対側の長い縁部に他の縁部19を具備しており、刃8は、縁部9に向かう側に他の縁部20を具備している。

スペース10は、刃6及び8の切り出し部21の間に縁部28と同じ水準の複数のフィンガ部を有し、これらの各々は、刃8への上方向接触面と、刃6への下方向接触面とを有する。

切断面19及び20に関する接触面11'及び14'は、接触面11及び14及び刃6及び8との間に存在するものと同じ角度に配置されるように設計されている。切り出し部15'及び16'は、切り出し部15及び16と同じように製造され、それらは、切り出し部15及び16及び縁部7及び9との間に存在するような縁部19及び20の相互位置に配置されている。さらに、距離α、α及び

デ2に取り付けられた刃のカセット3において、台部分5とキャップ部分4の切り出し部16の縁部38によって形成されるように調整される。縁部部分47は、11万の先端部で終結し、縁部の部分の縁部48は、接触面11と同じ角度を有する。図示したように底面部分46は、デボ49を具備しており、このデボ49は、台部分5の穴50と、キャップ部分4の穴50に係合し、刃のカセットを所定位置に固定する。

図示し及び説明した安全カミソリは本発明の一例である。本発明の範囲で他の設計及び構造を適用させてもよい。係合面並びに側面は異なるように製造してもよい。

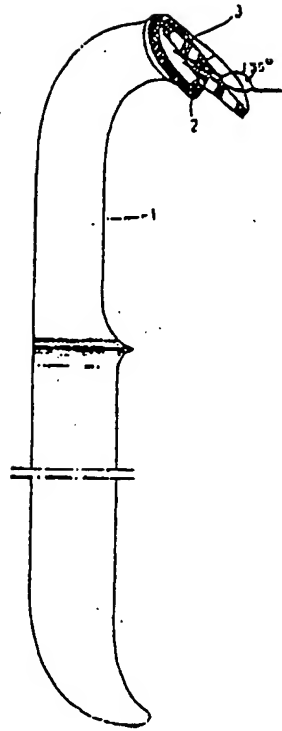


FIG 1

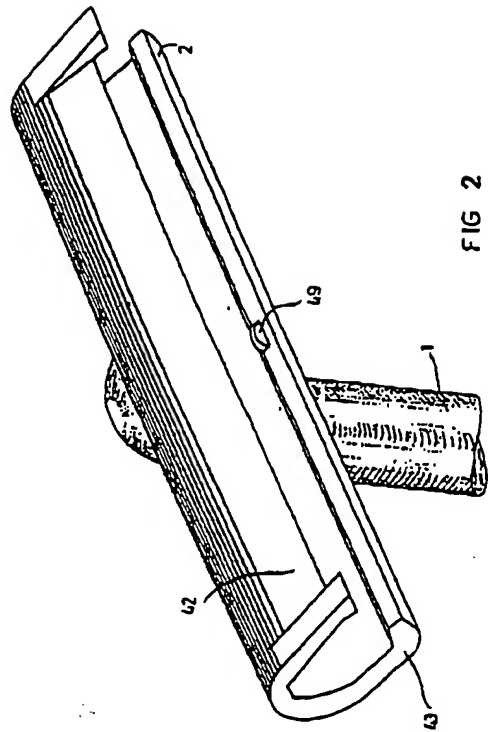


FIG 2

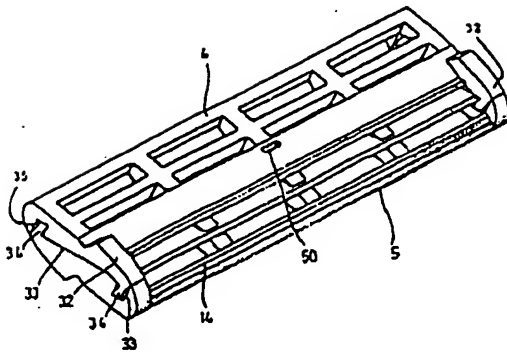


FIG 3

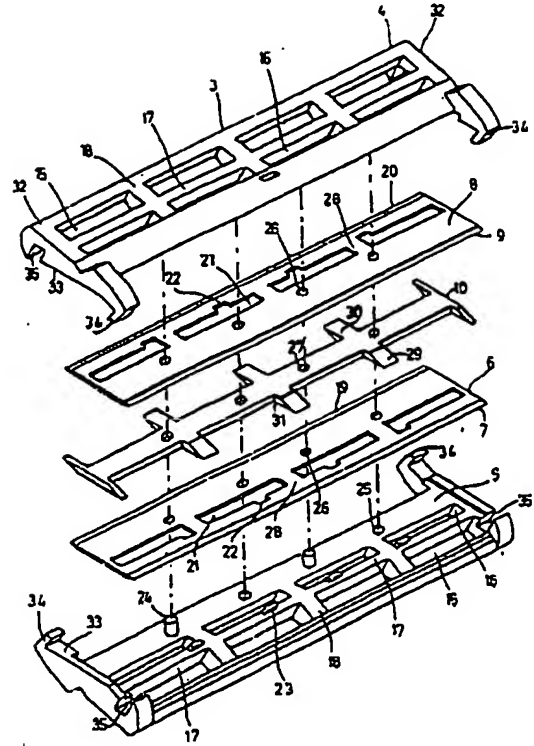


FIG 4

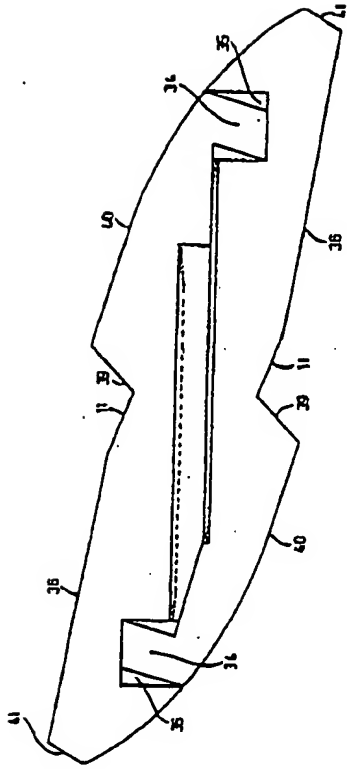


FIG 5

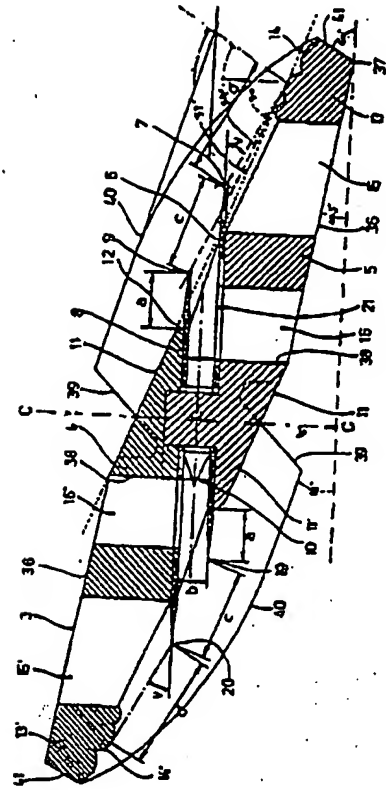


FIG 6

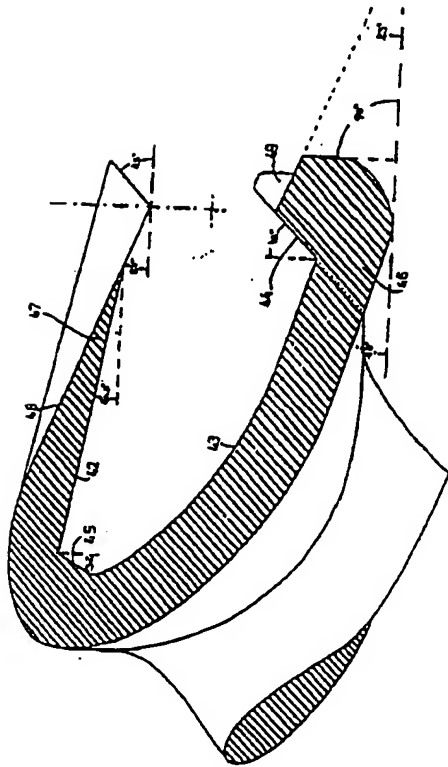


FIG 7

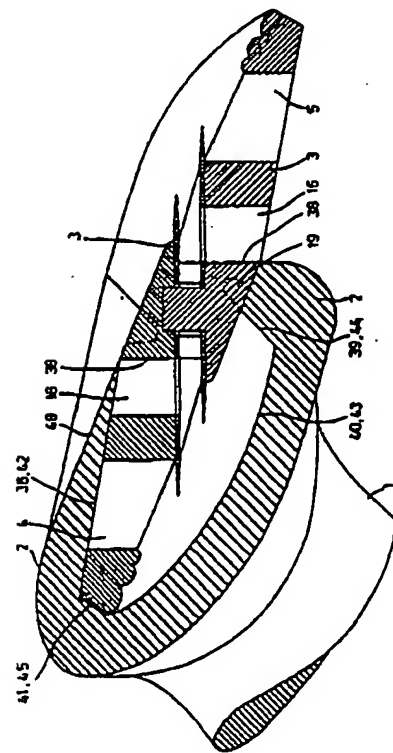


FIG 8

フロントページの続き

(81)指定国 EP(AT, BE, CH, DE,
DK, ES, FR, GB, GR, IE, IT, LU, M
C, NL, PT, SE), OA(BF, BJ, CF, CG
, CI, CM, GA, GN, ML, MR, NE, SN,
TD, TG), AT, AU, BB, BG, BR, CA,
CH, CZ, DE, DK, ES, FI, GB, HU, J
P, KP, KR, LK, LU, MG, MN, MW, NL
, NO, NZ, PL, PT, RO, RU, SD, SE,
SK, UA, US

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☐ FADED TEXT OR DRAWING
- ☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.